



子ども達の未来をともに考え、
一人ひとりの幸せをサポート。

40年以上にわたり青少年の健全育成のため様々な活動が続けてこられた青少年育成利府町民会議・会長の貝山さん。文部科学省の事業『心の教室相談員』では学校に通うことが難しいお子さんのお宅に伺い、本人や保護者の

方と会話しながら将来の社会的自立をサポート。それぞれの事情を抱えるお子さんの人生の一部に関わる中で、一人ひとりが将来幸せに生活できる方向に導いてあげられるよう相談に応じてきました。以前関わった方に街で声をかけられ、感謝の言葉をもらえた時などは本当にうれしく思います」と話します。PTA活動をきっかけに青

十符人

「とふとー」

「十符人（とふとー）」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。

青少年育成利府町民会議 会長

かいやま しょうこ
貝山 昭子さん（利府町社会教育委員議長・利府町婦人会会長）
昭和18年（1943年）山梨県に生まれ、結婚を機に仙台市に移住。昭和55年に利府町に転居。昭和57年に利府町青少年育成推進指導員となり、昭和61年に利府町民議会役員、令和4年に同会会長に就任。平成29年利府町社会教育委員議長、令和2年利府町婦人会会長就任。



※町内の小・中学校が協力体制を構築し、緊密な連携をとることで教職員の指導力や家庭の教育力の向上を図ろうというもの。

少年の非行抑止等の活動に携わり、青少年育成推進指導員、利府町民議会役員を務める一方、平成12年から『心の教室相談員』に。社会教育専門指導員の資格を取得し、家庭教育相談員養成講座なども受講。利府町独自の『町は一つの学校』という教育方針、またスクールシップや利府クリーンクラブ等の活動は、県下に誇れる素晴らしい事業だと思っています。万引き防止キャンペーンやあいさつ運動などは、皆様のご協力のもと町民会議の事業として展開させていただいています。青少年の健全育成ということだけではなく、若い方も高齢の方もその日の出会いを大切に、心を開いてお互いに声をかけあい、明るく楽しく毎日をお過ごしいただきたいですね」とお話くださいました。



Good Movement 活動日記 Vol.9

地域おこし協力隊

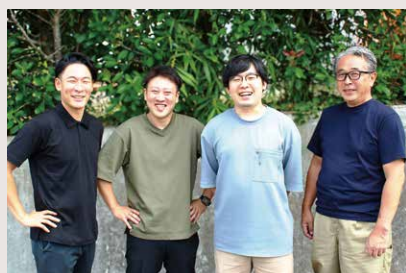
総務省地域おこし協力隊制度を活用し、利府町の活性化と社会起業家の育成を目指すプロジェクト



公式LINE

4つの個性が織りなす挑戦の物語 | イベント55プロジェクト

Good Movementイベント55プロジェクトは、年間55件のイベント開催を通じて、地域の賑わい創出と町民主体のイベントづくりを目指しています。自主企画イベントだけでなく、町内の企業や団体、行政と連携しながら様々なイベントを作り上げています。1人の挑戦から始まったチームも現在4人体制へと進化。成長し続けるチームの軌跡とこれからの挑戦、そして彼らが描く利府町の未来像に迫ります。



続きはこちら▶



メンバーの協力隊に入ったきっかけと今、そして未来について綴っています。

きっかけは彫刻家の父を支える事。ものづくりの魅力を伝えたい。

平泉 紫乃 | 23/12月～ブランディングプロジェクト | 物事の魅力を伝えるためのブランディングスキルを勉強中。現在は利府町の魅力を発掘し町内外へ発信するため、昼夜町内を駆け回ります！ 続きはこちら



「死」を覚悟したその瞬間。生かされた自分の役割を求めて。

三浦 英二 | 24/4月～イベント55プロジェクト | シニア世代と中小企業や若者を繋ぐ架け橋になりたいと、60歳を機に第二の人生をスタート。現在は瞬発力を武器にチームの要として奮闘中。続きはこちら

